

愛知県・名古屋市における新広域道路交通計画 ～ICT 交通マネジメント計画～

新広域道路交通ビジョン（愛知県・名古屋市版）を踏まえ、以下のとおり「ICT 交通マネジメント計画」を策定する。

1. 将来像（目指すべき姿）

＜愛知県・名古屋市の将来像＞

1. 世界から選ばれる魅力的な愛知
2. 危機に強く、イノベーションを創出する愛知
3. リニア時代のリーダー都市となる名古屋

2. ICT 交通マネジメント計画の基本方針

- ① 道路交通における I C T の社会実装

3. ICT 交通マネジメント計画

（１）取組事項と主な取り組み内容

取組事項	主な取り組み内容
a. 中部国際空港島及びその周辺地域のスーパーシティ化	○本県における国際交流の拠点である中部国際空港島及びその周辺地域において、自動運転、MaaS、ロボット、AI など様々な先端技術を活用して交通渋滞、労働力減少、持続可能なエネルギーの確保などの課題を解決し、空港利用者や住民の利便性を向上させつつ、本県の空の玄関口として国内外からの訪問者を迎える都市としての魅力を向上させるため、スーパーシティ化に向けた取組を推進する。
b. 自動運転の社会実装の推進	○自動運転を活用した新たなモビリティサービスの実現に向け、社会実装を技術面、運用面の両面から検証する実証実験を実施する。 ○「あいち自動運転推進コンソーシアム」における企業・大学・市町村等のマッチングを通じた実証実験を促進する。また、「あいち自動運転ワンストップセンター」において関係法令上の手続に係る各種相談への対応や情報提供、関係機関との調整を支援する。
c. MaaS 等新たなモビリティサービスの普及促進	○混雑の分散・回避など「新たな生活様式」に対応した地域公共交通の実現や、地域住民及び来訪者の円滑かつ効率的な移動、更には地域経済の活性化を目指して、産・学・行政の連携により、本県における MaaS 等新たなモビリティサービスの普及を促進する。

d. ITS・交通対策の推進	○最先端の情報通信技術を活用して、交通渋滞の緩和、交通事故の防止などの道路交通問題の解決を目指して ITS の普及・啓発を行うとともに、公共交通の利便性向上や自動運転の実現に必要な研究の支援などに取り組む。
e. 自動車安全技術の面からの交通安全対策	○自動車安全技術の面から交通安全対策に貢献するため、産学行政の連携の下、自動車安全技術プロジェクトチームを設置し、各種交通情報を活用した自動車安全技術に関する研究開発等に取り組む。

(2) ICT 交通マネジメント計画

- ・ICT 交通マネジメント計画一覧表 【様式 1－3】
 - ・ICT 交通マネジメント計画図 【様式 2－3】
- のとおり定める。

■ICT交通マネジメント計画一覧表

【様式1ー3】

都道府県 政令市名	計画名等	計画対象 地域	現状と課題	施策の内容	推進体制等
愛知県	あい・とこなめ スーパーシティ構想	常滑市	<空港島・周辺地域> ・集客増、混雑集中時の交通事業者間の連携、空港島内駐車場の不足 ・空港島内施設群の回遊、空港島と近隣地域を結ぶ移動手段の不足 ・災害時の孤立化の可能性 ・新型コロナウイルス感染症により落ち込んだインバウンド客の早期回復 <常滑市> ・市内を移動するための公共交通網の不足 ・空港島・周辺地域への来訪者の市街地等への誘導 <愛知県> ・自動運転、ロボット、水素エネルギー活用など次世代技術の実証実績はあるが、実装段階へのステップアップが必要 ・歴史、産業などの観光資源を生かした観光地としての魅力発信、集客、誘導 ・大型プロジェクト等による交流人口増加への対応	・自動運転・自動搬送サービス ・空飛ぶ車やドローンによる空の移動・物流サービス ・スマートモビリティサービス ・新しいモビリティの価値創出など	愛知県 常滑市
愛知県	幸田町スーパーシティ『防災コンパクトシティ』	幸田町	農村集落の高齢化や耕作放棄地、新しい生活様式への対応が課題。	・テレワーク・ステイホームに対応できる居住空間・仕事空間を提供していく他、スマート農業、エネルギーの地産地消、遠隔医療や在宅福祉、オンライン教育・交通弱者対策から自動走行までパッケージしたまちづくりを目指す	幸田町
愛知県	デマンド型交通による精度向上ダイナミックルーティング	東郷町	・ドライバー不足による公共交通網利便性の低下 ・買物や医療機関通院など、高齢者の移動手段確保	・曜日、時間帯、天候、気温、運転手など運行時間に影響を及ぼす要素をビッグデータとして活用し、デマンド型交通（チョイソコ）の到着時刻計算精度を向上するとともに、他の移動サービスとの連携を行うことで、自動車からのシフトや混雑回避効果を検証する	豊明市 東郷町 アイシン精機株式会社
愛知県	岡崎市スマートシティプロジェクト	岡崎市	・都市経営の原資確保にむけたビジネスモデル構築 <コストの縮減（サイクルシェア、イベント警備等）、データ有償提供（人流データとエリアマーケティングソフトの連携）>	・カメラによる人流分析 ・駐車場空き情報の一元化と提供 ・電気自動車の充電設備によるエネルギーマネジメント ・センシング技術等で取得する通行量分析に基づくモビリティの最適化と自動運転技術の実証 ・UAVによるインフラ点検	まちづくりデザイン会議 QURUWA戦略推進会議 岡崎スマートコミュニティ推進協議会
愛知県	・高蔵寺スマートシティプロジェクト ・（仮称）共通プラットフォームの構築によるMaaSビジネススキーム構築プロジェクト	春日井市	・まちびらきから50年が経過し、人口減少と高齢化が進展 ・坂道が多く、買い物や病院への移動は自家用車に依存しているため、将来の移動手段に懸念が生じている	・カメラによる人流分析 ・駐車場空き情報の一元化と提供 ・電気自動車の充電設備によるエネルギーマネジメント ・センシング技術等で取得する通行量分析に基づくモビリティの最適化と自動運転技術の実証 ・UAVによるインフラ点検 ・限定区域内ラストマイル自動運転 ・バス専用レーンの整備等基幹交通の自動運転化検討など	・名古屋大学 ・株式会社KDDI総合研究所 ・独立行政法人都市再生機構 ・名鉄協商株式会社 ・名鉄バス株式会社 ・日本電気株式会社東海支社 ・高蔵寺まちづくり株式会社 ・春日井市内タクシー組合
愛知県	中山間地域における高齢者の移動支援の取組～たすけあいプロジェクト～	豊田市	・地域バスは各路線週1往復のサービス ・タクシーは地域全体で3台、住居から地区拠点までは高運賃 ・集落拠点からのラストマイル問題 ・お出かけ情報が一元化されていない ・健康に不安を持つ住民の増加	・地区内の拠点に、豊田都心部への基幹バスや地区内コミュニティバス、タクシー乗り場を集約 ・利用者宅へはインターネット敷設、見守りセンサー設置、タブレット端末の貸与などを行い、モビリティの相乗促進などを行い、外出機会の向上に務める	・名古屋大学、東京大学 ・MONET Technologies株式会社 ・豊田市
愛知県	MaaSの実装に向けた取組	名古屋東部丘陵地域	・混雑の分散・回避など「新しい生活様式」に対応した地域公共交通の実現や、地域住民や来訪者の円滑かつ効率的な移動と地域経済の活性化が必要	・名古屋東部丘陵地域を対象にMaaSを先導的に実装できるよう、サービス内容や採算性を確保する方策などの検討を行う	愛知県 県内市町村 民間事業者 愛知県ITS推進協議会

■ ICT交通マネジメント計画図（愛知県）

